

**製品名: BCL2L2 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81911**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	20.7kDa

**抗原情報**

遺伝子名	BCL2L2
別名	BCLW; BCL-W; PPP1R51; BCL2-L-2
遺伝子 ID	599.0
SwissProt ID	Q92843
免疫原	大腸菌で発現したヒト BCL2L2 (AA: 6-118) の精製された組み換え断片。

**背景**

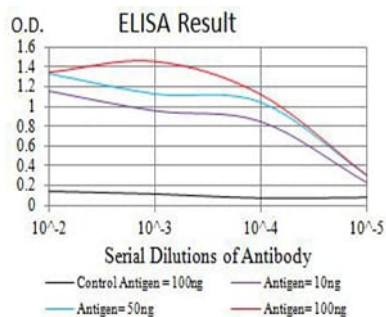
この遺伝子は BCL-2 タンパク質ファミリーのメンバーをコードします。このファミリーのタンパク質はヘテロ二量体またはホモ二量体を形成し、抗アポトーシスおよび促進アポトーシス制御因子として作用します。細胞におけるこの遺伝子の発現は、細胞毒性条件

下での細胞アポトーシスの減少に寄与することが示されている。マウスにおける関連遺伝子の研究では、NGF および BDNF 依存性ニューロンの生存における役割が示唆されました。マウス遺伝子の変異およびノックアウト研究では、成体精子形成において重要な役割が実証されました。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。また、この遺伝子と隣接する下流の PABPN1 (ポリ(A)結合タンパク質、核1) 遺伝子との間にも、リードスルー転写が存在します。

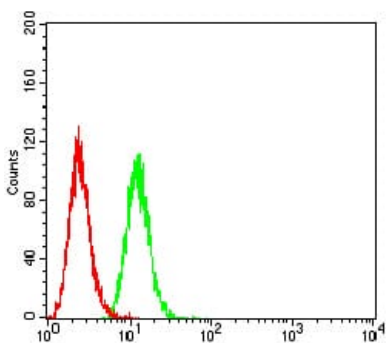
## 研究分野

-

## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



BCL2L2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。